

第70回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第7日目 9月25日(日)

第3位決定戦 Koboパーク宮城 1時間 48分

角田	1	0	0	0	0	0	0	1	【角】	21	5	1	0	4	2	3	6	3	0
台南	0	0	0	0	3	4	1x	8	【仙】	31	11	7	1	3	3	5	9	1	0

(球) 大槻 (一) 鴫田 (二) 菅原幸 (三) 高橋勝 (7回コールド)

▽本塁打 なし

▽三塁打 鶴殿

▽二塁打 なし (角) 岩崎, 宍戸, 寺岡 (仙)

▽暴投 太田1(角) ▽捕逸 なし

【評】

互いに東北大会初出場を賭けた戦いは、台南に軍配が上がった。角田は、初回四球で出塁した1番相馬を2番横山翼が犠打で送り、4番預幡が中前適時打を放ち1点先制し、試合の主導権を握ったかに見えた。しかし、その後は台南主戦永倉の前に散発4安打と打線に精彩を欠いた。台南は、角田主戦太田から4回まで得点を奪えずにいたが、5回先頭9番永倉が死球出塁後、2番鶴殿の右中間三塁打で同点とし、敵失後に4番岩崎の右前安打で2点を追加し逆転に成功した。6回にも二死一塁から、内野安打、敵失、4番岩崎5番宍戸の2連続二塁打で4点を奪い、試合を決定付けた。7回には、7番櫻井が右前安打で出塁、二死後1番寺岡の右翼への二塁打で7回コールドゲームとした。

決勝戦 Koboパーク宮城 1時間 54分

利府	0	0	0	0	0	0	1	0	【利】	30	4	1	0	1	1	10	4	1	0	
育英	0	6	0	0	0	0	0	2	x	【仙】	29	14	8	2	6	5	1	8	0	0

(球) 野田 (一) 加藤正 (二) 小松 (三) 佐藤拓

▽本塁打 なし

▽三塁打 なし

▽二塁打 水野 (利) 鈴木佳, 佐藤郁 (仙)

▽暴投 長谷川1(仙), 田中1(利) ▽捕逸 なし

【利府】	打	安	点	【仙台育英】	打	安	点
(二) 林田	2	0	1	(右) 藤里	3	2	2
(遊) 松野	4	1	0	(左) 齋中	2	1	0
(一) 小川	4	1	0	打 左	1	0	0
(左) 投 長谷川	4	0	0	(三) 熊鈴	1	1	0
(中) 青木	4	0	0	(一) 小関	4	2	3
(捕) 石川	3	0	0	(中) 佐藤	4	0	0
(三) 阿部	3	0	0	(捕) 阿部	3	2	0
(投) 田崎	0	0	0	(遊) 澤部	2	2	0
投 鈴木	1	0	0	(打) 澤部	1	0	1
打 左 中	2	1	0	打 遊	1	0	0
走 左 川	0	0	0	(二) 押切	2	1	0
(右) 小引	2	0	0	打 二	1	1	0
打 右 伊	1	1	0	(投) 菊佐	0	0	0
走 右 藤	0	0	0	投 藤々	3	1	2
				投 田中	0	0	0
				打 大山	1	1	0
				投 大栄	0	0	0
計	30	4	1	計	29	14	8

【評】

利府対仙台育英の決勝戦は、仙台育英が8対1で勝利し、6年連続21回目の優勝を飾った。2回の裏、仙台育英は連続四球の後、6番阿部のバント安打で無死満塁とした。その後、9番佐々田、2番中里、3番鈴木佳の安打と2つの犠飛を絡め、一挙6点を挙げ試合を優位に進めた。投げたのは、先発佐々田が7回を投げ、8奪三振と利府打線に2塁を踏ませない好投を見せた。利府高校は3回以降、鈴木と長谷川の継投で安打は許すものの、中堅手青木の好捕などで、7回まで更なる失点を許さなかった。8回には8番水野の二塁打と、代打引地の内野安打に、1番林田の犠飛で得点したが、後続が断たれ得点はその1点にとどまった。仙台育英は更に8回裏に2点を追加し、食い下がる利府高校を突き放した。